

シェア・インターナショナル ニュース

クリスマスの奇跡

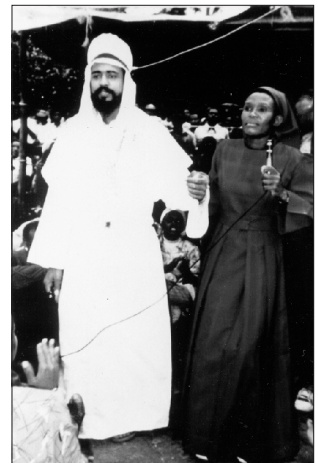
何年もの間、世界はあらゆる種類の奇跡で溢れかえった。1995年4月にアメリカの週刊誌『タイム』は奇跡についての特集に8頁を費やし、「人々は^{しるし}徴に飢えている」と結論づけた。

さあ今、これまでにない最も大きな奇跡を探しなさい。非常に間もなく、大きな、輝かしい星が空に現れ、世界中至るところで目撃されるだろう——夜も昼も。

信じ難い？ 夢想だ？ 否、単純な事実である。そしてその一週間くらい後に、全人類のための世界教師マイトレーヤは公に出現しはじめるだろう、まだマイトレーヤという名前は使わないが、アメリカの主要なネットワークテレビのインタビューを受けるだろう。

1988年に、CNNや（読売新聞も含めた）世界の他の多くのマスコミは、マイトレーヤが6月11日、土曜日に、ケニアのナイロビで6000人の前に奇跡的な現れ方をしたことを報道した。その出来事の一週間前に、驚くべき^{しるし}徴が起こったのである。「6月4日の土曜日に、大きな輝かしい星が見られた。通常の星よりもずっと輝かしいものであった」と、ケニア・タイムス紙の編集者、ジョブ・ムツンギ氏は報道した。

過去30年以上にわたって、画家であり、作家、講演者でもある英国人ベンジャミン・クレームは歴史上最大の出来事——マイトレーヤと彼のグループである覚者方の出現——のための道を整えてきた。1982年5月に、クレームはアメリカのロサンゼルスで会場をいっぱいにした記者会見において、1977年7月19日以降、マイトレーヤがロンドンのアジア系移民社会に住んでいることを明らかにした。



1988.6.11.ケニア・ナイロビ

すべての宗教によって異なった名前で見望されているマイトレーヤは、キリスト教にとってのキリストであり、イスラム教徒にとってのイマム・マフディであり、ヒンズー教徒のクリシュナ、ユダヤ教徒のメシア、仏教徒にとってのマイトレーヤ仏陀（弥勒菩薩）である。彼は、宗教の信者であろうがなかろうが、すべての者にとっての世界教師であり、最も広い意味における教育者である。

マイトレーヤは、今日の問題に関心を持つ現代人として、この変化しつつある世界の舞台の背後で働いている。彼が放出する途方もないエネルギーが多くの分野で起こっている劇的な発展を刺激してきた——冷戦の終結、ソ連邦の解体、東西ドイツの統一、南ア連邦のアパルトヘイト（人種隔離政策）の終止、自由と正義の要求につながってますます増大する民衆の力の力、環境保護に向けられた世界的な注目。

マイトレーヤのメッセージは「分かち合って、世界を救いなさい」という言葉に集約される。彼は、人類が自分たちをひとつの家族として見ることを、そして分かち合い、経済的正義、世界的な協力を通してわれわれが平和な世界を創ることを鼓舞しようとしている。

マイトレーヤと彼のグループが世界で公に働くことで、人類の生存が保証されるのみではなく、輝かしい、新しい文明の創造が保証されるのである。

註：覚者方とは、太古の昔から舞台の背後で人類を導き鼓舞して来られた大悟され完全の域に到達された方々の一団である。その一団（ハイアラキー）の長の職務にあるのがマイトレーヤという方である。今、彼らは、人類が最も緊急な世界の諸問題を解決するのを助け、分かち合いと、社会・経済的正義と、世界的な協力に基づく新しい文明の創造を鼓舞するために、日常の世界に戻って来られようとしている。